

医師

看護師

- ①
- ・手洗い、キャップ、マスク、滅菌ガウン、滅菌手袋を装着します。

- ・入室前にカテーテル室を保温します。
- ・カテーテル室入室時に同意書の確認(名前、日付、合併症の説明など)をします。
- ・ラインの確認、特記事項の確認をします。
- ・声をかけながら、検査台に誘導します。
- ・準備の流れや検査中の注意事項などを簡単に説明します。

- ②
- ・穿刺部を消毒し、滅菌ドレープをかけます。

- ・多職種と協力して、必要物品や機材を準備します。
- ・ヨードアレルギーがある場合は、クロルヘキシジンを準備します。

- ③
- ・多職種でタイムアウトを実施します。患者さんの氏名、感染症やアレルギーの有無を確認します。これにより、患者誤認、アレルギーによるアナフィラキシーショックを予防し、血液曝露に伴うリスクを事前に把握することができます。また、難聴、認知症、透析などの特記事項も確認します。

- ④
- ・穿刺部位に皮下注射で局所麻酔を行います。

- ・1%キシロカインを準備します。キシロカインにてアレルギーがある場合は、ロカインを用意します。

- ⑤
- ・穿刺を行います。動脈に針を穿刺し、ガイドワイヤーを穿刺針から血管内に挿入します。挿入後、穿刺針を抜去し、ガイドワイヤーからシースを挿入します(セルジンガー法)。

- ・穿刺時に痛みが生じること、シースが挿入されるときに押されるような感覚があることを伝え、予期せぬ事態に対する不安の軽減に努めます。
- ・声をかけながら、心拍数、呼吸回数、SpO₂、呼吸パターン、意識レベル、痛みの有無をモニタリングします。

